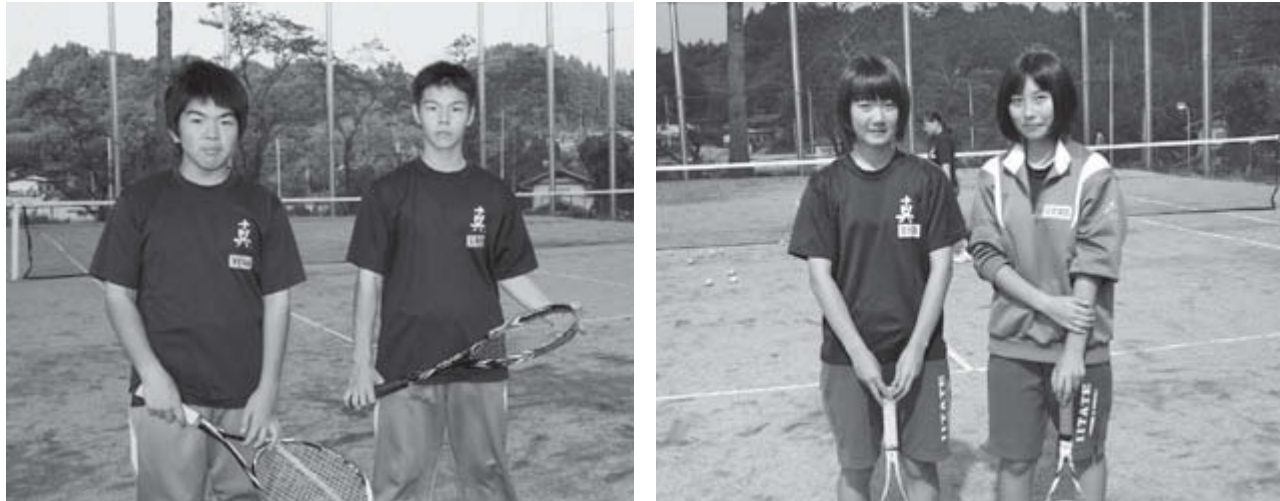




▲県大会出場を決めたソフトテニスの男女ペア。左の写真が安齋・石黒ペア、右が菅野・高橋ペア

9月24・25・26日に行われた福島県中学校体育連盟新人戦相双地区予選会に飯館中学校生徒68人が参加し、日ごろの練習の成果を発揮しました。今大会に参加したのは、野球部、女子バスケットボール部など7つの部活動です。中でもソフトテニス部は熱戦を制し、男女各1ペアが11月に行われる県大会への出場を決めました。

男子ペアでの出場を決めた石黒優志さん（2年）は「昨年は、男子部員が少なく、大会に出場することが出来なくて悔しい思いをしました。兄も出場したことがあるので憧れだった県大会。まずは1勝を目指します」と大会への意気込みを話していました。

念願の 県大会出場へ 中体連新人戦



▲同町産のりんごが全園児に贈られました



▲園児に大人気の「ゆずも」です

はじめまして



ゆずもです

栃木県茂木町で今年の7月に誕生した同町マスコットキャラクター「ゆずも」が、10月2日に草野・飯桶幼稚園（福島市飯野町）を訪ね、園児たちはゆずもに抱きついたり、握手をしたりして交流を行いました。

村教育課生涯学習係には、今年の4月から茂木町より派遣された町井栄元さんが応援職員として勤務されており、今回の交流が実現しました。

この日、ゆずもに同行した同町役場職員・山田眞一さんから「飯館村の一日も早い復興を願っています」と村復興への励ましの言葉がありました。



▲派遣応援職員町井さんとゆずも



1. 「新刊、話題の本が借りられることも魅力です」と話す相馬農業高校飯館校生
2. 絵本・小説・実用書など約1,000冊を常時、貸し出し用に搭載しています



自分の愛読書を探してみませんか 移動図書館車 こあら号

村教育委員会では、避難生活中の読書活動に役立てていただくこと、震災後から移動図書館車「こあら号」による本の貸し出しを行っています。

「こあら号」は、平成26年1月に豪日交流協会とオーストラリア・クイーンズランド州立アイロンサイド高校から寄贈されました。これまでの利用者は、延べ2618人。貸し出された本は3753冊です（平成26年9月現在）。貸し出す本は、全国から寄贈された本や利用者からの要望本などを随時入れ替えています。

「こあら号」は、学校や仮設住宅等を定期的に巡回し本を貸し出ししているほか、村民が集まるイベント先に向いて、読書活動を推進しています。

「こあら号」の毎月の巡回予定は、お知らせ版に同封される表をご覧ください。ご利用をお待ちしています。



こあら号

利用者の声をご紹介します

齋藤マツヨさん（深谷）

90歳を迎えられた愛読家さんです。毎月5冊の本を「こあら号」から借りています。好きな作家は俵万智（たわらまち）さんとのこと。

「避難をして近所に知る人もなく気落ちしてる時に、本で勇気をもらいました。親切な優しい移動図書館に感謝しています。本を借りられると思うと心がワクワクします」。

第15回 いいたてむら 読書メッセージコンテスト 募集中

「この本、おもしろかったから、みんなにも教えたい」…そんなあなたの気持ちを教えてください！

○応募方法…自分が読んだおすすめの本のメッセージを応募用紙に記入し、村各学校、仮設住宅集会所、村役場飯野出張所等にある応募ポストへ投函または、郵送・eメールで応募ください。

〒 飯館村教育委員会 生涯学習係
飯野出張所 ☎024-562-4240
✉kouminkan@vill.iitate.fukushima.jp